



絆

きずな

図書館ボランティアだより

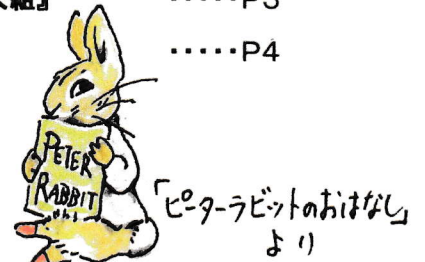
第6号

2010年2月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行

目次

図書館を利用して	「ママ、今日はこの絵本！」 「もっと子どもに本を触れさせよう」	……P2
ご存知ですか	「CDの話 (その1)」	……P2
私のおすすめ	「戦国武将の脳」 「日本の樹木」 「ズッコケ三人組」	……P3
図書館からのお知らせ		……P4

阪南市立図書館20周年記念事業に思う



「ピーターラビットのおはなし」より

サラダホール20周年記念として、文化センター・生活学習推進課と共同で事業を行うことができましたのは、関係団体の皆様のご協力のお陰です。職員一同この場をお借りしてお礼申し上げます。

図書館部門の記念事業ですが、10月10日の～「松本サリン事件」からの教訓～では、大ホールに約600の方が来られ、河野義行さんの講演を聞かれました。感想としては大変良かった、人ごとではないような気がするという意見が多かったです。年配の方が多かった事もありますが、松本サリン事件は何年もたった今でも我々の心に残っているようですね。

11月1日にはさいとうしのぶ先生を迎え、ワークショップ形式で、親子にて手作り絵本を作成いたしました。子どもの楽しそうな姿が、とても印象的でした。

12月4日には和歌山県立医科大学教授の板倉徹先生を迎え、満席状態の小ホールで「子どもの脳が危ない！」という題で、脳の働きや、子どもの脳の成長について楽しくお話をうかがうことができました。

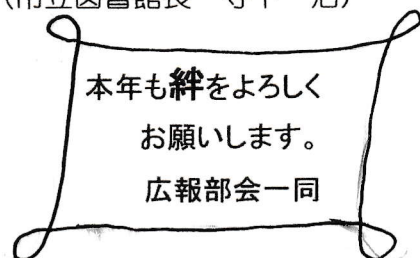
その中で読書は前頭前野を発達させるために有効であり、特に5才までが一番成長する時期となることから、本の読み聞かせは大切であると、話して下さいました。

今後とも図書館に対し、助言及びご協力をよろしくお願いいたします。

(市立図書館長 寺下 治)



新干誓 ・ 画



本年も絆をよろしく
お願いします。
広報部会一同

私自身にはあまり図書館を利用したという記憶はないのですが、妻は二人の娘が小さい頃、二人を自転車に乗せてしょっちゅう図書館に通っていました。図書館の読み聞かせコーナーで時間を過ごしたり、借りてきて自宅で読んで聞かせたりしていました。娘たちも本が大好きで、夜は布団の中で、それぞれ自分の好きな絵本を私のほうが先に、あとひとつ、まだもうひとつと、いつまでも寝ないで、ずっと聞いていたことがあったのを思い出します。

その娘も結婚、幼稚園に通っている孫もいるのですが、孫にはあまり本を読ませていないようです。本よりもテレビやゲームなどに興味をもつのでしょうか。活字から映像の時代になって情報量が格段に増えたと言われるのですが、反面、想像力は失われてきているように感じます。また、感性の時代とも言われていますが、逆に感性も以前に比べて低下してきているのではないかと私には思われます。想像力や感性を養うためには、本を読んで、自分の考え、想像を膨らませていくことも必要なのではないでしょうか。

久保 隆二

図書館を利用して

赤ちゃんの頃から「おやすみ」の前には絵本を読んできました。電気を消すと星座が光る絵本や、楽しい仕掛けのあるもの。図書館で子どもたちがそれぞれ選んだ絵本を、いつもたくさん借りて帰りました。子どもたちと一緒に布団の中で絵本を読んでいると、ポカポカと暖かくなって、とても幸せな気持ちになりました。

小さい頃から図書館に通っていたお陰で、子どもたちは今でも本が大好きです。長男は活字が大好き。マンガ・新聞・説明書・辞書なんでも読んでいます。長女は「本を書きたい」と自分で考えたお話しを書いていきます。

私たち家族にとって図書館は身近でたくさんさんの思い出が詰まっています。これからますますとお世話になっていくことと思います。

N・K



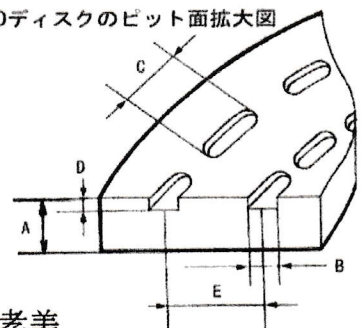
《ご存知ですか》

CDの話 (その1)

レインボウカラーに輝く直径12cmの片面で、70分を越す「第九」の演奏も可能な不思議なCD。厚さわずか1.2mm(下図A)。このディスクの片面にデジタル信号を表すピット(くぼみ)が刻まれています。このピットは、幅が0.5ミクロン(下図B)、長さが0.9~3.2ミクロン(下図C)、深さ0.1ミクロン(下図D)という微細なもので、ディスクに内側から外側に、うず巻きになってつながっていて、隣のうずとの間隔は1.6ミクロン(下図E)です。1ミクロンは、髪の毛の約50分の1ですから、僅かな汚れ(指紋など)やゴミ、すり傷でも音楽を聴くときに障害となります。

私は図書館サポーターとして週1回CDみがきをしています。入院してくるCDはどれもキズだらけです。これを磨くと、キズがとれて再び演奏することができます。しかし、このようにしてもなお、元通りにならないCDもあります。今回は、その原因やデータを読み取る光ピックアップについてお話ししましょう。

CDディスクのピット面拡大図



杉山 孝美

『戦国武将の脳』 津本陽・板倉徹著

『日本の樹木』 林弥栄著

東洋経済新報社出版

281

山と溪谷社出版

653. 2

まないたしやま

阪南市の最高峰である俎石山は、標高は僅か420mですが頂上からの眺めは素晴らしく、魅力ある誇らしい山で、樹木も豊かです。リョウブという木は、樹皮が迷彩色のようにまだら模様で美しく、床柱にも使われます。この山にはリョウブ並木があつて数多く見ることが出来ます。リョウブに少し似ている木でカゴの木があります。初めて耳にした時には、どうしてこんな名前がついたのかと思いましたが、鹿子の木という字を見て納得できました。

ヤマコウバシという木は、枯れた色の葉が冬でも残っていて春になってから落ちる不思議なクスノキ科の植物です。受験のお守りになるそうです。

ゴンズイという魚と同じ名前の木は、樹皮が魚に似るのでついた名前です。この木の実には秋に真っ赤に熟して裂けると黒い種子が現れ、赤と黒とのコントラストがとても美しいものです。樹木の名前は、難しいと思っていました。このように身近な山で親しみやすい木から覚えていくと楽しくなります。私はいつもこの本のお世話になっています。俎石山では、自然と本の会の皆様が木々に名札を付けてくださっていますので、お気に入りの木を見つけに登ってみませんか。 野村 春子

私のおすすめ



ここ数年前より「脳」がクローズアップされるようになり、それに関係する本も多数出版されている。その中で戦国武将と脳の関係に興味をもち、津本陽さんとの対談形式ということでさらに読んでみたくなり購入した。歴史好きな私にとつて予想通り個人的で魅力的な戦国武将それぞれの生き方と脳の関係がお二人の対談を通して具体的に述べられていて楽しめる本だった。

例えば、信長の先見性と残虐性、秀吉の決断力、家康の忍耐力、謙信の宗教心などは脳とどう関係していたのか、板倉徹さんが脳神経外科医として解り易く解説されている。そして、今100年に一度と言われる不況の中でどう生きるか、戦国武将に学ぶべきことが多いと結ばれている。

釣船 廣子

〈子どもの本〉

『ズッコケ三人組』

那須正幹著

ポプラ社出版

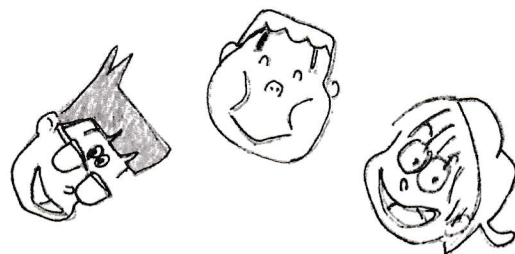
K913ナス

ぼくは、五年の七月から『ズッコケ三人組シリーズ』を読みはじめました。そして、全五十巻読みました。とてもおもしろいので、みなさんもぜひ、読んでみてください。

ハナベエ、ハカセ、モーちゃんの三人組がさまざまな世界で協力し合って冒険するところが、おすすめです。特に、「参上！ズッコケ忍者軍団」が、おすすめです。

五十巻読み終わったら「ズッコケ中年三人組シリーズ」も読んでみてください。「ズッコケ中年三人組シリーズ」は大人になった三人組が、子どものころに対決した怪盗Xと再度対決したり、クラスメートとけっこんしていたり、五十巻読み終わらないとわからないおもしろさもあります。

昨年十二月に出版された、「ズッコケ中年三人組 Age44」もこれから読んでみたいと思います。



小5 田村 崇将 (絵も)

★図書館の本を見て作った作品展★

平成 21 年 11 月 16 日～23 日 サラダホール 展示室

・出品者数 39名 ・出品点数 約190点 ・入場者数 延べ832名

市民の皆様のご協力を得て、いろいろなジャンルの多数の力作が集まりました。1日平均119名もの方が来場し、とても盛況のうちに幕を閉じました。図書館の本を見て、こんなにいろいろな作品が作れるのか、と感心されている方や、これなら私にも作れそう、と言っている方がたくさんいました。図書館フレンズの皆様にもご協力いただきました。ありがとうございました。

★阪南市のことが、雑誌に掲載されました★

図書館で借りられます。

雑誌「子どもの文化」2010年1月号に、8ページ分（3人共同執筆による）の記事が載りました。特集「子どもと本とのすてきな出会い」について、執筆依頼が来たのが昨秋10月。市民のパワーを借りての「子読推（阪南市子ども読書活動推進計画）」策定の様子とその前後の動きをまとめる、と決まったものの、おりしも11月3日（図書館20周年）近く、図書館はてんてこ舞い状態で、やっと取りかかれたのが11月半ばにさしかかる頃。締め切りは11月末。追いまくられる思いで、秋の連続講座（全五回）の開催、「家庭読書の日」のスタンプの景品の企画、などを抱えながら、子読推策定後の様々な動きを書き出していきました。やっと原稿を送ってほっとしたら次は校正。思いを伝えるためまたまた頭をひねります。編集の方も「最善を尽くしたい」と締切日と字数の制限の中、工夫を重ねて下さり「館長さんのおはなし会」等写真入りの楽しい紙面になりました。今、活字になったものを改めて目を見ると、頑張って良かったー、と思えるのでした。



阪南市立図書館 永橋

★「家庭読書の日」カードのスタンプ6つで、プレゼント★

「カードにスタンプ集まったら何かもらえるの？」との声にこたえ、プレゼント（3種類）を企画しました。ひとつ選んでください、カードにチェック後さしあげます。（一年で12個集めたら2種類もらえます。）

* 23日は家庭読書の日 *

			
4月23日	7月23日	10月23日	1月23日
			
5月23日	8月23日	11月23日	2月23日
			
6月23日	9月23日	12月23日	3月23日

2009-2010 ほんなんしりつじょうかん

「家庭読書の日(9月23日)」のカードもてる？

6こスタンプのあるひとに、きに行ったのがあったら、もらってね。としょかんからプレゼントがあります。このなかからえらべます。

- としょかんオリジナルちよがみ (うらに「ましかく」のせんつき)
- てんてんつなぎ と めりえ
- すごろく としよかんにいこう



すごろく としよかんにいこう

③

めりえ

かいていとしょかん「家庭読書の日」のカードにスタンプが6こ以上おしてあるひとに、うれしいおしらせ

